

(様式第 1 号)

平成 30 年 5 月 2 日

認定介護福祉士認証・認定機構
理事長 様

領 域 名 : 心理・社会的支援の領域
科 目 名 : 心理的支援の知識・技術
単 位 数 : 2
認証申請する研修の名称 : 認定介護福祉士養成研修

団体名 : 公益社団法人
日本介護福祉士養成施設協会
群馬県介護福祉士養成校協議会 一般社団法人 群馬県介護福祉士会
団体事務所 : 〒371-0823 〒371-8525
の所在地 群馬県前橋市川曲町 191-1 群馬県前橋市新前橋町 13-12
電話 : 025-253-0294 027-255-6226
FAX : 027-254-0294 027-255-6173
E-mail : shimizu-k@shoken-gakuen.ac.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者 : 鈴木 利定 ㊞

団体代表者 : 小池 昭雅 ㊞

申請責任者 : 白井 幸久

記

○認定介護福祉士研修認証申請書 (別紙 1 ~ 3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号

(※は記入しないでください)

認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	平成30年5月2日
申請団体名	公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会 群馬県介護福祉士養成校協議会 一般社団法人 群馬県介護福祉士会
申請団体代表者氏名	鈴木 利定 小池 昭雅
申請責任者職名 申請責任者氏名	群馬医療福祉大学 短期大学部 教授 白井 幸久
団体住所 同 Tel・Fax メールアドレス	公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会 群馬県介護福祉士養成校協議会 〒371-0823 群馬県前橋市川曲町 191-1 Tel : (025)-(253)-(0294) Fax : (027)-(254)-(0294) E-mail <u>shimizu-k@shoken-gakuen.ac.jp</u> 一般社団法人 群馬県介護福祉士会 〒371-8525 群馬県前橋市新前橋町 13-12 Tel : (027)-(255)-(6226) Fax : (027)-(255)-(6173)
申請対象の領域	領域名： 心理・社会的支援の領域
科目名 (単位数)	科目名： 心理的支援の知識・技術 (2 単位)
申請する研修名	認定介護福祉士養成研修
研修認証実績	年 認証番号 () 年 認証番号 () 年 認証番号 ()
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	心理・社会的支援の領域	
科目名	心理的支援の知識・技術	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> ・援助対象者の心理を理解・支援するうえで必要な心理学に関する知識を習得し、心理的理解と支援の方法を習得させる 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の心理と行動に関する理論を理解し、説明できる。 ・自己と他者の心理を理解するための基本姿勢と生じやすいバイアスを理解する。 ・学習と欲求・動機づけの理論を理解し、支援に応用できる。 ・心理的理解や支援の基本的技法を知り、実践に取り入れる 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> ○心理学の基本的理解 <ul style="list-style-type: none"> ・こころを科学的に研究することの理解 ○自己と他者の心理的理解 <ul style="list-style-type: none"> ・自己概念の理解(社会的アイデンティティ、社会的比較など) ・社会的認知(他者理解のバイアス・ステレオタイプ、帰属錯誤など) ○学習と動機づけの理解 <ul style="list-style-type: none"> ・学習の基本と応用(行動理論と自立支援への応用) ・欲求と適応の理解(マズローの欲求階層説、防衛機制など) ・動機づけの理解と応用(達成動機、内発的動機など) ○心理的支援技法の基礎と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・心理学的面接技法の理解と応用(カウンセリング等における関わりや傾聴の技法の理解と練習など) ・ストレスと対処方略の 	<p>講義演習①心理学の概要 (60分×2)</p> <p>心理学の成り立ち、心理学の領域、代表的な研究方法について理解する。</p> <p>また、演習として質問紙法と作業検査法について性格検査を用いて実際に体験する。</p> <p>課題①事例(入浴介助の促進に関する取り組み)に対してどのように心理学の知見が活用されているかをまとめること (1000～1500字)</p> <p>課題②「介護に関わる専門家の1人」として「当然こうあるべき」と自分又は世の中で求められている基準や事柄について自分の考えをまとめること (1000字～1500字)</p> <p>講義演習②自己/他者の心理学(60分×4)</p> <p>自己/他者の心理的理解に有用となる心理学の枠組みについて理解する。具体的には、考え方・感じ方の個人差の理解に関する内容と、他者の存在や集団への所属による心理的影響を学ぶ。</p> <p>また、演習として社会的知覚(自己の体験による知覚への影響)、傍観者効果(他者の存在による行動への影響)の実験を取り上げる</p> <p>課題③事例(認知症患者のBPSD)で発生している帰属錯誤についてまとめること (1000字～1500字)</p>

<p>理解 ・生活支援への認知行動療法等の応用</p>	<p>課題④「古典的条件づけ」と「オペラント条件づけ」について調べ、例を挙げて説明できるようにまとめること(2000～3000字)</p> <p>講義演習④学習(60分×2) 行動理論(2つの条件づけ, モデリング)の基本を理解する。また演習においては, 行動理論を用いた対象者理解と支援について集団討議を行う。</p> <p>課題⑤「オペラント条件づけ」が応用されている身の回りの具体的な取り組みについて1つ挙げ, その仕組みについてまとめること(1000～1500字)</p> <p>課題⑥「マズローの欲求階層説」について調べ, 各段階について例を挙げて説明できるようにまとめること(2000～3000字)</p> <p>講義⑤欲求・適応・動機づけ(60分×3) 行動の背景となる欲求・動機づけについて理解する。加えて, 対人援助場面で生じうる葛藤や欲求不満を理解する枠組みについて学ぶ。</p> <p>課題⑦事例(施設でのレクリエーション参加)について, 内発的動機付けと外発的動機付けの枠組みから参加の動機づけについて自分の考えを述べること(1000～1500字)</p> <p>課題⑧セリエの一般適応症候群について調べ, 「警告反応期・抵抗期・疲弊期」がそれぞれどのような状態かまとめること(2000～3000字)</p> <p>講義⑥ストレスと対処行動(60分) ストレスに対する心身の反応と対処行動, これらに影響を与えるパーソナリティ特性について理解する。</p> <p>課題⑨自分自身のストレス対処行動について5つ挙げ, それぞれの種類・期待される効果・どのような時に有効かをまとめること(2000～3000字)</p> <p>課題⑩「行動療法」「認知療法」についてそれぞれ調べ, 特徴や技法をまとめること(2000～3000字)</p>
---------------------------------	--

		<p>講義演習⑩心理的支援の理論とその応用（60分×3）</p> <p>心理療法の基本的知識と生活支援場面への応用について理解する。また、演習において受講生間のロールプレイを行い、実際の傾聴場面における留意点を体験的に理解する</p>
研修方法	<p>■通学課程</p> <p>■課題学習</p>	
	<p>集合研修は講義と演習を組み合わせる。</p>	
研修時間	<p>30時間(対面授業 15時間 + 課題学習 15時間)</p>	
修了要件	<p>1. 当該科目の対面授業の全課程に出席していること。 (出欠席・遅刻・早退の取り扱いは別紙4のとおり)</p> <p>2. 事前・事後レポート、計画書等の提出の指示がある科目の場合、提出期限内に提出し合格していること。</p> <p>3. 当該科目が示す修了評価において、C評価以上であること。 * 修了評価について 筆記試験及びレポート試験の評価は別紙5の評価基準を用いて実施する。</p>	
講師要件（講師の選定基準）	<p>* 当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者</p> <p>* 補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師などの教育経験がある者</p>	
<p>(2) 受講者について</p>		
受講対象（受講要件）	<p>単位取得できるのは介護福祉士資格を有するものであること。</p>	
修了評価（習得度、研修成果）	<p>（筆記試験／科目「認定介護福祉士としての介護実践の考え方」で作成した個別支援計画の評価・修正）</p>	
<p>(3) 研修の環境条件</p>		
定員（講師の配置基準）	<p>30名(講師 1名) 演習時も同一の講師が行う。 講師 1名。補助講師(ファシリテーター)の配置については、当該講師の授業運営に応じ、適切に配置する。 * 尚、その際には当該講師が意図したことを理解し、適切な介入ができる能力を有する者であり、受講生 8~10名に対し 1名を置くものとする。</p>	
開催場所（都道府県）	<p>群馬県</p>	

コマシラバス 以下の表は対面授業 15 回分として

回数	科目名 (回ごとの項目)	時間(分)	内容
1～2	心理学の基本的理解	60 分×2	心理学の成り立ち, 心理学の領域, 代表的な研究方法について講義を通じて理解する。また, 演習として質問紙法と作業検査法について性格検査を用いて実際に体験し, 理解を深める。
3～6	自己/他者の心理的理解	60 分×4	自己/他者の心理的理解に有用となる心理学の枠組みについて理解する。具体的には, 考え方・感じ方の個人差の理解に関する内容と, 他者の存在や集団への所属による心理的影響について講義を通じて学ぶ。また, 演習として社会的知覚 (自己の体験による知覚への影響), 傍観者効果 (他者の存在による行動への影響) の実験を取り上げ, 理解を深める
7～8	学習/行動理論の理解と応用	60 分×2	行動理論 (2つの条件づけ, モデリング) の基本について講義を通じて学ぶ。また演習として, 行動理論を用いた対象者理解と支援をテーマとする架空の事例検討と集団討議を行い, 理解を深める。
9～11	欲求・適応・動機づけ	60 分×3	行動の背景となる欲求・動機づけについて講義を通じて理解する。加えて, 対人援助場面で生じうる葛藤や欲求不満を理解する枠組みについて学ぶ。
12	ストレスとストレス反応, 対処行動の理解	60 分×1	ストレスに対する心身の反応と対処行動, これらに影響を与えるパーソナリティ特性について講義を通じて理解する。
13～15	心理的支援の理論とその応用	60 分×3	心理療法の基本的知識と生活支援場面への応用について理解する。また, 演習において受講生間のロールプレイを行い, 実際の傾聴場面における留意点を体験的に理解する

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証更新

認証更新申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1)研修の実施予定	
実施日	① 平成30年 9月
	②
	③
開催場所 (会場)	① 群馬医療福祉大学 前橋キャンパス
	②
	③
(2)講師	
担当、氏名及び略歴	<p>大島由之 群馬医療福祉大学 助教</p> <p>●略歴 筑波大学大学院人間総合科学研究科卒 修士 (心理学) 同大学院特任助教として、附属学校および相談室のカウンセラーを務めた後、現在に至る。</p> <p>●資格など 臨床心理士</p> <p>●社会活動 2011年～2014年にかけて日本老年行動科学会 ACS (高齢者事例検討) 委員として、認知症高齢者のBPSDに対する多職種チームによるケア研究に参加。現職では、2015年より群馬県老人福祉施設協議会中毛ブロック中堅介護職員現任研修講師を担当。また、県内の民生委員や特別養護老人ホーム職員など他職種向け研修講師を多数務める。</p>
(3)実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	<p>認定介護福祉士養成委員会 (13名)</p> <p>群馬県健康福祉部 介護高齢課 1名 (オブザーバー)</p> <p>群馬県介護福祉士養成施設協会 1名</p> <p>群馬県介護福祉士会 1名</p> <p>群馬県老人福祉施設協議会 1名</p> <p>群馬県老人保健施設協会 1名</p> <p>群馬県地域密着型サービス 連絡協議会 1名</p> <p>群馬医療福祉大学 2名</p> <p>短期大学部 (事務局) 2名</p> <p>運営担当 群馬医療福祉大学 短期大学部 3名</p> <p>・研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連関や留意点について共有する。</p> <p>・研修委員会のメンバーは研修の補助を行いつつ、研修内容の整合や新たに含むべき内容があるかなど、研修見直しの一助も担う</p>
研修の企画運営に関する 諸規程	研修委員会設置要綱
研修管理責任者職名	群馬医療福祉大学 短期大学部 教授
研修管理責任者氏名	白井 幸久
機構問合先部署	群馬医療福祉大学 短期大学部 事務局

機構問合せ先担当者氏名	矢嶋 栄司
機構問合せ先電話番号/FAX	電話 027-253-0294 / FAX 027-253-0294
機構問合せ先 e-mail アドレス	shimizu-k@shoken-gakuen.ac.jp
受講問合せ先部署	群馬医療福祉大学 短期大学部 事務局
受講問合せ先担当者氏名	矢嶋 栄司
受講問合せ先電話番号/FAX	電話 027-253-0294 / FAX 027-254-0294
受講問合せ先 e-mail アドレス	shimizu-k@shoken-gakuen.ac.jp
(4)研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	群馬医療福祉大学 短期大学部 事務局
受講履歴の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> *紙媒体及びデータによる台帳管理する。 *外付けディスクにバックアップデータを保管する。 *データの保存期間は10年間とし、その後は外付けディスクにてデータを保管する。 *個人情報の取り扱いにあたっては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	全課程を修了した者には、認定介護福祉士養成委員会により修了証書を発行する。
管理責任者氏名	白井 幸久
管理担当者氏名	矢嶋 栄司